

まちづくりの目標	5	誰もが学び、成長できるまち
政策	3	文化・スポーツを通じて市民が元気なまちにします

施策	2	郷土の文化を大切にすまにします	担当部(統括部)	生涯学習部
----	---	-----------------	----------	-------

【実現している姿】

目標	市民が歴史・文化に関心を持ち、大切にして次世代に引き継がれています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)
目標	歴史・文化が市の魅力となり、市民が気軽に親しむことができます。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)
目標	歴史・文化を通じて、人と人とのふれあいができています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)

実現している姿を確認する指標

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
歴史に関する団体の会員数	目標	—	—	—	120人	120人	120人	130人	140人	140人	150人
	実績	110人	110人	110人	92人	92人					
歴史に関する講座の延参加者数	目標	—	—	—	260人	280人	300人	350人	370人	370人	400人
	実績	336人	309人	242人	312人	381人					

【施策の展開】◎は重点的な取組み

○郷土文化の保存・伝承							平成26年度事業費計 2,151千円
市民による自主的な伝承活動の支援や伝承ボランティアの育成を行うとともに、デジタルデータなどを活用して、郷土芸能を継承します。また、学校教育の中で、郷土史文化の学習に取り組みます。							
平成26年度事業	◇文化財保護事業2,151千円(生涯学習課)						
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	後期終了年度 平成32年度	
計画	民謡や盆踊り等の郷土芸能を後世に伝えるための伝承者の育成の検討	郷土芸能保存記録(DVD)を活用し、伝承者ボランティアを育成	郷土芸能保存記録(DVD)を活用し、伝承者ボランティアを更に育成	デジタルデータを活用して郷土芸能を継承郷土芸能保存記録(DVD)を活用し、伝承者ボランティアを育成	郷土芸能保存記録(DVD)を活用し、伝承者ボランティアを育成	デジタルデータを活用して郷土芸能を継承	
取組実績	DVDを教材として、正確な動きや唄を学んでもらえるよう指導者を用いた講座を企画した。						
成果	鳥飼東公民館において『江州音頭を伝える民謡講座』、『江州音頭を歌おう講座』を実施した。						
次年度課題	講座を開催し、伝承者の増加を図る。						
計画	学校教育の中で、副読本を活用した郷土史文化を学習	学校教育の中で、副読本を活用した郷土史文化を学習	学校教育の中で、副読本を活用した郷土史文化を学習	副読本を時代背景にあった郷土史文化に改定する	学校教育の中で、副読本を活用した郷土史文化を学習	副読本を時代背景にあった郷土史文化に改定する	
取組実績	小学3年生が副読本「わたしたちの摂津」を活用し、地域の神社の行事や郷土の資料について学習した。						
成果	身近な行事や実際に使っていた農具などを知り、郷土の歴史が実感でき、興味関心が高まった。						
次年度課題	副読本に掲載されている場所から離れている小学校からも継続して現場に行ってもらえるようにする。						

◎文化財の適切な保存						平成26年度事業費計 2,151千円
生活民具や生産農具などの文化財を集約して適切に保管するとともに、既存施設を活用し、市民と協働で公開展示します。また、埋蔵文化財を発掘し、その破壊と散逸を防ぐため、「文化財保護法」により必要な措置を図るとともに、「摂津市文化財保護条例」に基づき、市内の有形・無形文化財を保護します。						
平成26年度事業	◇文化財保護事業2,151千円(生涯学習課)					
	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	既存施設を活用し、文化財愛護会等とともに公開展示の検討	既存施設を活用し、文化財愛護会等とともに公開展示を実施	既存施設を活用し、文化財愛護会等とともに公開展示を実施	公開展示のPR及び内容の検証	既存施設を活用し、文化財愛護会等とともに公開展示を実施	公開展示のPR及び内容の充実
取組実績	旧教育研究所で民具・農具の展示を行っただけでなく、摂津市役所本館1階ロビーにて「昔なつかしの農具・民具展示会」を開催し、広く活用を図った。					
成果	市民の民具・農具について市の文化として継承を図るとともに、それらの文化について市民へ啓発することができた。					
次年度課題	民具・農具については保管場所の問題から、さらなる整理が必要である。					
計画	明和池遺跡で新たに貴重な埋蔵文化財が発掘された場合、必要な保護措置	市内の文化財にスポットをあて、市の魅力としてPR	市内の文化財にスポットをあて、市の魅力としてPR	市内の文化財にスポットをあて、市の魅力としてPR	市内の文化財にスポットをあて、市の魅力としてPR	市指定文化財を保存・活用し、市内の文化財を広くPR
取組実績	明和池遺跡の発掘調査を完了し、調査で出土した遺物の展示会を行った。さわやか広場鳥飼に明和池遺跡の出土遺物を展示した。					
成果	明和池遺跡の出土遺物展示会の開催や、さわやか広場に遺物を展示することで、文化財の普及・啓発活動に努めた。					
次年度課題	埋蔵文化財について、単なる保存ではなく活用方法(常設展示・土器とのふれあい学習等)を検討する必要がある。					
計画	ふるさと摂津案内人による「ふるさと摂津講座」を活用し、摂津の歴史をPR	ふるさと摂津案内人による「ふるさと摂津講座」を活用し、摂津の歴史をPR	ふるさと摂津案内人による「ふるさと摂津講座」を活用し、摂津の歴史をPR	ふるさと摂津案内人が文化財からふるさとの歴史を学習する機会を提供	ふるさと摂津案内人が文化財からふるさとの歴史を学習する機会を提供	ふるさと摂津案内人が文化財からふるさとの歴史を学習する機会を提供
取組実績	「昔なつかしの農具・民具展示会」の中でふるさと摂津案内人によるむしろ織実演会を行い、摂津の歴史をPRすることを図った。					
成果	市民の民具・農具について市の文化として継承を図るとともに、それらの文化について市民へ啓発することができた。					
次年度課題	展示会だけでなく、「ふるさと摂津講座」の中でもPRを行えるようにする必要がある。					
計画	第6集会所の補修工事及び案内板の設置	—	—	—	—	
取組実績	補修工事及び案内板の設置を行った。					
成果	第6集会所の公開展示を行うための準備ができた。					
次年度課題	公開展示を行い、計画を終了とする。					

◎新修摂津市史の発行						平成26年度事業費計 15,500千円
歴史を学習する自主グループが学習成果を生かすことができるよう、市主催の文化財講座や出前講座の講師として活躍する機会を拡充します。						
平成26年度事業	摂津市史編さん事業15,500千円(総務課)					
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	第4期実施計画期間 平成27年度 平成28年度		後期終了年度 平成32年度
計画	摂津市域に関わる史料の調査・収集・分類・整理及び摂津市史編さん委員会の開催	摂津市域に関わる史料の調査・収集・分類・整理及び摂津市史編さん委員会の開催。『資料集第1号』発刊	摂津市域に関わる史料の調査・収集・分類・整理及び摂津市史編さん委員会の開催	摂津市史古代・中世編、近世・近現代編の編集作業	摂津市史古代・中世編、近世・近現代編の編集作業	摂津市史古代・中世編、近世・近現代編の編集作業
取組実績	庄屋地域文書などの目録作成及び写真撮影。『市史編纂たより』発行。編さん委員会開催					
成果	膨大な史料を整理しながら、市史執筆の基礎づくりを着実に実施している。					
次年度課題	新たな史料の調査を始める					

### 【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

ふるさと摂津案内人						平成26年度事業費計 2,151千円
歴史を学習する自主グループが学習成果を生かすことができるよう、市主催の文化財講座や出前講座の講師として活躍する機会を拡充します。						
平成26年度事業	◇文化財保護事業2,151千円(生涯学習課)					
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	第4期実施計画期間 平成27年度 平成28年度		後期終了年度 平成32年度
計画	ふるさと摂津案内人が生涯学習大学や文化財講座や出前講座の講師役を務める機会を継続	ふるさと摂津案内人養成講座を開催	活動場所である、ふるさと摂津講座の充実	ふるさと摂津案内人養成講座を検証	ふるさと摂津案内人の活動機会を拡充	ふるさと摂津案内人の活動機会を拡充
取組実績	ふるさと摂津案内人の養成講座を開催した。					
成果	案内人養成講座は、3人が修了。ふるさと摂津講座は、154人が受講。					
次年度課題	ふるさと摂津案内人養成講座の内容の充実。					